

スペシャルオリンピックスは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。ここ富山でもSOが活動しています。現在約140名のアスリート会員が8つの競技種目に取り組んでいます。



卓球は富山で8つ目のプログラム。第1回トレーニングには72人の参加がありました

今季のエッセイ

頑張ることに意義がある

山口昌広特別顧問(当時:設立準備委員長)から依頼を受けてトーチランを開催したのは今から4年前。当時を思うと、今日のアスリートの成長や活躍は想像以上で、大変うれしく、アスリートを支えるファミリーやボランティアの皆様のご尽力に対し心から感謝いたします。

さて、北京オリンピックも間近に迫りました。近代オリンピックの創業者ピエール・ド・クーベルタン男爵の言葉として知られる「参加することに意義がある」は、私が小学生の頃、負けたときの言い訳に冗談でよく使ったものですが、本来の意味はもちろん言い訳ではありません。

この言葉の由来は1908年の第4回ロンドンオリンピックにさかのぼります。イギリス選手とアメリカ選手は国民感情のもつれから不穏な状況にあったそうです。地元の寺院がアメリカ選手を招き、司教が選手らに「この五輪で重要なことは、勝利することより、むしろ、参加したことにある」と述べられました。後日、イギリス政府主催のレセプションが開催され、大会役員らを前に男爵がこれを引

監事 村上 和久(富山市議会議員)

用し、続けて「人生において重要なことは、成功することではなく、努力することである。根本的なことは征服したかどうかにあるのではなく、よく戦ったかどうかにある。このような教えを広めることによって、いっそう強固な、いっそう激しい、しかもより慎重にして、より寛大な人間性を作り上げることができる」として、これが広まり、引用した司教の言葉も含めて男爵の言葉として伝わっているものだとされています。(Yomiuri On-Line より)

本家オリンピックがドーピング問題や過度な商業化に苦悩する一方、私たちスペシャルオリンピックスの活動こそクーベルタン男爵の言葉どおり生かされているのではないのでしょうか。

アスリート宣言も「わたくしたちは精一杯力を出して勝利を目指します。たとえ勝てなくても、頑張る勇気をあえて下さい。」と謳っています。もっとも、勇気をもらっているのは私ですが...

卓球プログラムスタート

6月15日、記念すべき第1回プログラムは大勢の方(72名)に参加いただいて、無事に終了することができました。アスリート29名には、それぞれにコーチがついて、マンツーマンでの指導が実現したすばらしいスタートになりました。富山大学の水内先生はじめ学生の皆さん、HPでこの活動を知って初めて参加して下さった一般ボランティアの方、飛び入りで参加いただいたSON・東京のコーチなど、多くの方々に感謝いたします。



最初に、「プログラム8回と競技会が成功するようにがんばります！」と宣言しましたが、さて、何があったら「成功」なのでしょう？ それは、プログラムが終わった後、「またこのメンバーで集まって卓球をやりたい」と参加者全員が思えることでしょう。それが“成功”なんだろうと私は考えています。卓球をやることも大事だけれど、“お互いを知って仲良くなる”ことがもっと大切だと考えています。参加する人みんなにとって「居心地のいい場所」にしたい！ そうなるようがんばりますので、みなさん、よろしくをお願いします。

(卓球プログラムヘッドコーチ 林 慎二)



文化プログラムスタート

「小さい花や大きな花 一つとして同じものはないから～」と歌詞にあるように、今回初めてお会いしたアスリートは、10歳から25歳までの個性あふれる9名でした。初回はまず私がアスリートを知ることから始まりました。音楽を通してできることを探し、そのできるようになったことがアスリートにとって楽しい活動となるように、次回からのプログラムに取り入れるよう配慮しました。

決して教育的ではなく、あくまでもアスリートがその人らしく楽しめるような活動を探していくつもりです。楽器演奏では、皆で一緒に鳴らす場面のほか、一人で鳴らして仲間に認められる機会をつくるなど、アスリートがプログラムの中で輝けるシナリオをつくるように心がけました。今後も微力ながら、参加されるアスリートもファミリーも、共に楽しく笑顔いっぱいになる時間を共有できるように進めていきたいと思っています。

(文化プログラム(富山会場)ヘッドコーチ 道下 和美)



最近のイベント

サッカークラブの支援を受けることになりました

SON・富山は 2008 年夏季、富山市で活動している中学生年代のサッカークラブ“FC ひがし”さんの支援を受けることになりました。“FC ひがし”は、これまでも車いすサッカーチームとの交流の実績がある、地域での社会貢献を目指す団体です。SO もまた、アスリートが地域の人々と感動や友情を分かち合う機会を継続的に提供することを目的の一つにしています。

社会がさまざまな障害を持つ人たちを自然な形で受け容れる“ノーマライゼーション”の達成には、健常者がまず、障害者の日常を理解することが必要です。ノーマライゼーションは、障害者の側からだけ働きかけて成るものではありません。健常者の側がいかに自然に障害者の世界を理解できるかの工夫が大切です。

そのような意味からも今回、“FC ひがし”が目指す社

会貢献は、SON・富山を支援くださる活動の中で、双方の団体にとって、きっと大きな成果を上げることができるものと期待されています。“FC ひがし”さん、よろしく願います。



“FC ひがし”の中川代表(右)と、SON・富山の井川HC

富山大学で説明会を開催しました

5月29日(木)、富山大学五福キャンパスで、澤田SP委員長がSOの説明を講演しました。2003年に富山で発足した活動の経緯や最近の大会への出場など、さまざまなエピソードを交えて、約1時間の説明でした。

知的発達障害をもつ人たちに接するときの、最も基本的な心構えや、実際にスポーツプログラムの場面でアスリートに指導するときの秘訣など。既にSON・富山の活動に参加してくれて、NG山形にも同行してくれた熊田・

堀江の両ボランティアも出席していて、10人くらいの学生が真剣に講義を聞いてくれました。この説明会に出席してくれた富山大学のボランティアたちは、その後、6月1日に太閤山ランドで開催されたバーベキュー大会にも参加くださり、準備やゲーム活動に積極的に加わってくれました。みなさん、ほんとうにありがとうございました。そして、これからも、よろしく願いますね！



JFL公式戦でSON・富山が紹介されました

2008年4月20日(日)、富山県総合運動公園で、JFLの公式戦が開催されました。カードは、地元の「カターレ富山」対「ガイナレ鳥取」。結果は、1対0で、カターレ富山は初の連勝です。SON・富山のアスリートは、カター

レ富山さんから招待を受けて、スタンドで観戦させていただきました。その様子は、大きな電光掲示板「オーロラビジョン」でも映し出され、「スペシャルオリンピックス日本・富山」の文字とともに大きく紹介されました。



アスリートの笑顔を見たいから

アスリートのみなさ～ん、元気ですかぁ～？

「元気があれば何でもできる。笑顔と元気で今日も一日がんばろう！」これは、僕がアスリートから学んだことです。この不思議なご縁は僕がソニー生命に入社したときに決まっていたみたいですか？

富山営業所が開設し、しばらくは遠ざかっていた活動でしたが、何かの圧力で(笑)、あれよあれよという間にフロアホッケーのコーチに。肩書きだけですが、ボランティア副委員長にまで(汗)。原動力はアスリートの笑顔でしょうか。山形の冬季ナショナルゲームでは3日間、アスリートと寝食を共にし、朝起きてから夜寝るまで完全燃焼の彼らに圧倒されっぱなしでした。彼らの燃料

スペシャルオリンピックスの活動に参加して

SOの活動に参加するようになって、今年の6月でちょうど一年が経ちました。まだまだ未熟なのに、夏から冬にかけていくつものプログラムに顔を出させてもらったうえ、山形のナショナルゲームにまで参加させていただいて本当に感謝しています。成長するアスリートの姿を見て、自分のことのようにうれしくなりました。



しかし、実際はコーチと呼ばれていいのかなという不安がありました。水泳プログラムで初めてコーチと呼ばれたとき、スキー経験なんてまったくな

いのにアルペンスキーに参加したとき、コーチなんてめっそうもないなんて思うこともありました。特にスキーは初心者以外のなものでもありません。もちろん転倒の連続でのスタートでした。でも、アスリートと一緒にいることで、そんな不安も消えていき、プログラムを重ねるにつれて段々と滑れるようになりました。もちろん、そんな自分を受け入れてくれるファミリーやコーチのあたたかさを実感しています。

ボランティア副委員長 村井 司

はたぶん「好奇心」と「笑顔」でしょうね。

何かをしてあげたいというボランティア精神はもちろん素晴らしいことですが、一緒にいると彼らの笑顔がこっちにうつります。元気がでます。涙もでます。お腹もすきます(笑)。共に楽しむこの感覚を体験したい人は一緒にやりましょうよ！SOの笑顔の花は疲れた現代社会に良く効きます。そして、SOの元気が人類を救う日はそう遠くないでしょう、な～んてね(笑)。



コーチ 堀江 大亮(ボランティア)

そんなSOの雰囲気だからこそ、楽しくできましたし、私自身、アスリートと一緒に成長できているのだと思っています。

そんなSOの雰囲気だからこそ、楽しくできましたし、私自身、アスリートと一緒に成長できているのだと思っています。

コーチとして考えさせられること

待ちに待った夏季の水泳プログラムが6月7日から始まりました。高岡会場の水泳は、全プログラムの中で一番多い34名のアスリートが参加しています。「今年こそ、25mを途中で休まないで最後まで泳ぎたい」「面かぶりクロールを覚えたい」「顔を水につけられるようにしたい」など、一人ひとりの目標は違いますが、どのアスリートも笑顔があふれていて、やる気満々でした。

そんなアスリートを支えているのが、いつも元気な島上ヘッドコーチ、細かい配慮で優しい西野マネージャー以下29名のスタッフです。私も、2005年に石川県で行われた西日本ブロック競技会からコー

コーチ 鳥内 禎久(ファミリー)

チとして参加していますが、苦勞の多い反面、たくさん「汗と涙」の感動を味わうことができました。スペシャルオリンピックスのアスリート宣言ではありませんが、私たちファミリーのコーチも、「たとえ勝てなくても、頑張る勇気を与えられる」ように、心をつにして努力していきたいと思っています。

皆さん、プールに入らなくてもいいんです。今からでも遅くないので、一人でも多くのファミリーがプログラムに参加していただくと嬉しいと思います。

アルペンスキーに参加して

本プログラムに参加させていただき、4年ぶりに息子(将吾)をグレンデに連れて行きました。4年前までは、弟・妹の小学校の課題練習と兼ねて連れて行き、特に教えることもなく、緩やかなグレンデを勝手に滑らせている程度でした。弟・妹が卒業後、



冬の寒さと家計の寒さ等でグレンデから遠ざかっていましたが、今回、初めて参加させていただきました。アスリートの華麗な滑降(格好?)や、初めてスキーをするアスリートを熱心に指導されるコーチの皆様を拝見し感動するとともに、アスリ

ファミリー 酒井 哲也

ート・コーチ・ファミリーが一定の規律の下、一緒に滑ることで子どもたちに協調性や向上心が芽生える良い機会であることを確信し、もっと早く参加させれば良かったと後悔しました。また、コーチ・ファミリーの皆様のアスリートへの優しい対応に触れ、私自身の今までの将への対応等、反省することばかりでした。

朝早くグレンデに向かう車中で将がニコニコしている姿は、きっと、皆様と出会い、一緒に滑ることができ楽しさを知ったのだなと感じました。これから、少しでもグレンデに連れて行き、もっと楽しく滑れるようにしてやりたいと思います。そして、来年も参加したいと思います。ありがとうございます。

運営委員会から

スポーツ安全保険に全員が加入することになりました 医療・安全対策副委員長 中山 育子

今期の医療・安全対策委員会は、委員長を八木が、副委員長を中山が務めますのでよろしくお願いたします。分担は、メディカルチェック管理が委員長、保険関係を私が担当します。

保険に関しては、今年度よりアスリート・パートナー全員に、スポーツ安全保険に加入してもらうこと

になりました。従来と違って、委員会として一括して保健を管理することができ、保険未加入に関連するトラブルを防止できます。活動中に怪我や事故に遭われたときは、参加しているプログラムのヘッドコーチを通じて急いで連絡してください。

スポーツプログラム委員会より

競技会・大会を体験しよう

富山から 2008 年冬季・ナショナルゲーム(NG)山形に参加したメンバーの中から、なんと3名のアスリートと2名のコーチが、それぞれアルペンスキー・フロアホッケーで、来年開催予定の 2009 年冬季ワールドゲーム・アイダホに参加が決まりました。SO の発祥地であるアメリカで、日本の、そして富山のアスリートとコーチには、ぜひ頑張ってきてもらいたいものです。皆さんも応援をよろしくお願いたします。

また、2010 年夏季 NG の開催地が大阪に決定しました。これまた日本の SO を代表する地区組織での開催です。SO の本当の素晴らしさを知っていただく上で、大きな大

スポーツプログラム委員長 澤田 守弘

会の華やかな舞台というものを、一度は皆さんにも経験してもらいたいと思います。今から準備を整えれば誰でも参加資格が得られますので、頑張ってみてください。

ちょっとまだ2泊3日のNGは自信がないな...と思われる方もいるかと思いますが。1泊2日のブロック競技会が11月に愛知県で開催されます。この機会を利用して富山という地区組織の枠から一歩踏み出してみませんか？そして、どんどん自信をつけて、少しずつステップアップを目指してみてください。アスリートは意外な成長を見せてくれるかもしれませんよ！

就労継続支援 B 型事業所「すずかぜ工房」

障がいをもつ人たちの働く場所として、福祉サービスの選択肢のひとつとして、平成 19 年 11 月 1 日に就労継続支援 B 型事業所としてオープンしました。誰もがもつ「一芸」を活かし、みんなで今よりも少し良い暮らしを送ることを目標に、毎日仕事に取り組んでいます。

定員：20 名

対象：富山県内の療育手帳・精神障害者手帳をお持ちの方

時間：9:30～16:30

休日：土日祝日、年末年始、夏期休暇

交通：富山地铁バス城ヶ丘停車場より徒歩 5 分

NPO 法人すずかぜ工房 理事長 笹原 健司

<業務内容>

石鹸製造...天然油脂を原料とした無添加の石けんやアートソープを生産しています。釜炊きから包装・出荷まで、あなたが力を発揮できる仕事がきっとみつかります。

委託事業...プラスチック加工の仕事を請け負っています。

何でも屋...除草等、地域の求めに応じた仕事に取り組んでいます。

富山県富山市城村 147 番地 3

TEL/FAX(076)481-7323

e-mail:suzukaze-soap@kih.biglobe.ne.jp

自立サポート Jam、スタート

「その人らしくいきいきと暮らす、を支援したい」「ニーズに応じた柔軟な生活支援を行い、自立した生き方の選択肢を広げたい」との願いで NPO を立ち上げ、6 月 1 日、「自立サポート Jam」(福祉サービス事業所)をオープンいたしました。月曜日から金曜日は自立訓練(生活訓練)、土曜日・祝日には余暇活動支援のほか、曜日を問わず各種の相談事業も行っています。

毎月末の土曜日はオープンハウスになります。皆様お誘い合わせの上「自立サポート Jam」に遊びにおいでください。できたばかりの小さい事業所ですので、物品などがまだ十分に揃っているとは言え

特定非営利活動法人 Jam 理事長 柴田 万希子

ません。ボランティアも募集しています。私たちの活動にご賛同いただける方々のご支援・ご協力をお願いいたします。

住所 高岡市宮田町 21 - 23

定員 20 名

営業時間 8 時 30 分～17 時 30 分

施設長 岡本久子(社会福祉士)

休日 日曜、第一土曜

賛助会員募集中！！

お問合せ

電話・FAX 0766-30-4881

Eメールは npo-jam@samba.ocn.ne.jp まで

アスリート作品集（第2回）

学校や自宅で作ったもの、職場で作った作品。どれも、みんなアスリートによる創作です。今回は 2008 年夏季プログラム参加者のものを紹介します。



竹村さんとワニ（西野昌樹）

大好きな竹村健一さんを描きました

ペーパーウエイト（前田恵佑）

高岡養護学校在学中の昨年秋の遠足でガラス工房に行き作ったものです。上の葉っぱの部分がお気に入り、見るとなでています。



きらきらフォトフレーム（八木信成）

ゴールデンウィークにおばあちゃんと京都へ行って作ってきました。”とびっきりのおねえちゃん”と一緒に写真を撮っています。



火の鳥（大野裕司）

高養3年次の作品です。

籐細工の籠（田口美里）

就業体験先のレインボーで作った籐細工の籠です。担当の方のご指導の下、作りたてのホヤホヤで、何に使うかは思案中です。



富山水泳

プログラム会場は旧八尾町の井田川沿いにあり、駐車場もあります。着衣でプールサイドに入れますが、ファミリーはできるだけ水着を着てプールと一緒に入ってサポートをお願いします。

大きいプールではないので全体が見渡せてとてもやりやすいです。児玉 HC は若くって優しいし、このプールに所属しておられて専門的に指導して下さいますよ。初めてのアスリートでも、全然、泳げなくても大丈夫！

ボウリング

会場は JR 小杉駅南にあるクアトロブーム小杉です。駐車場はアルプラザと一緒に、午後はたいてい満車です。早めに行かないとなかなか駐車できません。受付を済ませたらボウリングシューズに履き替え、ボールを自分のレーンに持って行って準備完了。マイシューズ、マイボールがあるといいですね。

ヘッドコーチからの説明の後、全員で体操をしてプレー開始。練習はアメリカン方式(2レーンを交互に往き来して投げる)で、1回に2ゲームを投げます。今年は秋に愛知県でブロック競技会があるので今からとても楽しみで

サッカー

サッカープログラムは高岡養護学校のグラウンドが会場です。呉西のアスリートには馴染みがありますよね。でも、残念ながら、会場には日陰がありません。なので、ファミリーの方は帽子、日傘は必需品です。

アスリートの平均年齢がググッと下がった今年は、基本練習を中心にこまめに休憩を入れながら進めています。また、今年度から富山市で中学生年代を対象として活動しているサッカークラブ“FC ひがし”さんも協力してくれています。あと、コーチは皆とってもやさしいです。

卓球

今年始まった8つ目のプログラムです。アスリート、ボランティア、ファミリー総勢 70 人強の大所帯です。球に慣れ、ラケットに慣れ、ラリーが出来るようにスケジュールを組んで頑張っていこうと HC の意気込みが伝わってきます。体育館の中は暑いですよ。親子で体を動かしますから、アスリートはもちろん、ファミリーも必須アイテムはタオルと飲み物、そして着替えです。ときどき時間と場所が変更になりますから予定確認はこまめにお願いします。

FH高岡

会場は高岡市ふれあい福祉センターの体育館です。ボランティアが少ないのでファミリーの練習参加、大歓迎です。真冬の体育館はとても寒く、見学だけのファミリーは寒さとの戦いです。コートを着たままでカイロを持っていても冷えてきます。みなさん寒さ対策をお忘れなく。

センター内には自販機があるので温かい飲み物も買えます。NPO 法人えいぶるの経営で、障がいを持つ「えいぶるメイト」が働く高福レストラン「えいぶる」もありますよ。

文化富山

特徴は、変わった楽器が演奏できる！ なつメロから最近話題の曲まで楽しめる！ 体も適度に動かせる！ と、ほんとうに楽しいプログラムです。木魚や鳴子、レインスティック(パットほどの長さの棒で、中は空洞。小石のようなものが入っていて波の音に聞こえる)、ハンドベル、ツリーベル...。大人も知らない楽しい楽器がたくさん。

耳で感じて、触って感じて、動いて感じられる楽しいプログラムだと思います。4回コースというのが残念です。なにより、講師の道下先生の笑顔がすてきです。

高岡水泳

会場は、富山県高岡総合プールです。駐車場は広いです。現在は 5 グループに分かれてアスリートに応じたトレーニングに取り組んでいます。開始時間が 17 時からなので、早目に夕食の準備を済ませてから来るファミリーもいるようです。高岡養護の先生方を中心にファミリーが協力して、今期は 30 名のコーチがアスリート 34 名と一緒に活動しています。プールには浅いレーンも準備してあるので、泳げない人でも安心です。水に入るのが怖い人からバリバリ泳ぎまくる人までそれぞれですが...

陸上

高岡市菅城光寺陸上競技場は緑豊かな二上山の中腹にあり、ふだんは鳥の鳴き声が聞こえるような環境です。陸上競技場のすぐそばに野球場があって、高校野球や富山サンダーバーズの試合があるときには、周辺は賑やかなムードに一変して車は大混雑します。

プログラムがそんな日に当たると、坂道を登る途中で野球少年に止められたりします。慌てないで、「陸上競技場に行く」と言って進んでください。間違っても野球少年の誘導に従って霽園の方には行かれませぬように？

バスケットボール

バスケプログラムは、射水市内のアルピス小杉総合体育センターと小杉体育館で開催されます。小杉体育館は真ん中にネットがあってコートが二分されるので、アスリートが反対側のコートに行かないようにファミリーにお手伝いをお願いします。ファミリーは必ず内履きズック持参をお願いします。

また、アルピス小杉総合体育館はこじんまりとしているのですが、夏場はとても暑いので、水分補給、汗拭きタオル、できればウチワがあると便利です。よ。

FH富山

柳町小学校の体育館でやってます。入り口は正面玄関前です。近くにはスーパー大阪屋さんがあるので帰りに買い物もできます。必需品はタオル、飲み物、ヘルメットをかぶったまま水分補給をするので、水筒はストロー付きがいいです。時にはファミリーの方にもお手伝いしてもらってます。誰にお願いするかはわかりません。いつも、運動できる服装をお願いします。見学の方は寒さ対策(カイロ)お忘れなく。着替えが必要な方は持って来て下さい。優しいコーチ陣、楽しいお兄さんお姉さんが待ってます。

アルペンスキー

極楽坂スキー場が会場です。コーチの方々はどうなたもとても優しい！ だから、アスリートはみんなコーチが大好き！！ でも、グレンデではコーチは何人いても足りません。スキーで滑らないファミリーもグレンデでいるんなサポート活動が可能ですから、どんどん参加しましょう。ファミリーがコーチングするときは、自分の子以外のアスリートを担当します。みんなが協力する楽しいプログラムですよ。去年は妙高高原で SON・新潟との合同プログラムもありました。シーズン前にはヘッドコーチが主催する道具の調整、交換会が開かれます。

文化高岡

スポーツプログラム以上に気軽に参加できますよ。最初は道具も使わず、アスリートの体を使って音を出していきます。体を動かしながら音を出し、少しずつリズムもつけていきます。そうしたら今度は、珍しい楽器がたくさん出てきます。歌を歌いながら楽器でリズムをとり、一人ひとりが出す音がそのうちにみんなの音になっていきます。和音になり、合唱になり一体感が生まれてきます。そんな気軽に楽しいプログラムです。

どらえもんピンバッチ



どらえもんピンバッチをつけてSOを応援しよう!

写真の「どらえもんピンバッチ」を、プログラムや競技会、各種のイベントなどで衣服につけて、スペシャルオリンピックスをアピールしましょう。各プログラムの中でファミリー委員にお問い合わせください。

事務局から

<今後の予定>

- 11月1・2日(土・日): ボウリングブロック競技会(愛知県)
- 10月12日(日): SOデー(富山県総合運動公園屋内グランド、芝生スポーツ広場)

<お知らせ>

- スペシャルオリンピックス2009冬季ワールドゲーム・アイダホに、アスリート3人(林知佳(AS)、岩白翔太・戸田明里(FH))とコーチ2人(金山彰(AS)、熊田美和(FH))が出場します。

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2008年4月~6月)>

敬称略

青木 正嗣	大野 博美	石仙 拓洋	田村 進	西野 昌樹	増田 康子	森 完一
青木 隆済	大野 裕司	古谷内 正人	塚本 裕香子	西野 彰	松井 衷	森永 文夫
青木 洋子	大野 政代	古谷内 明美	塚本 勝宏	西野 淳子	松井 勉	森永 ゆみ江
浅野 達哉	荻生 明美	坂田 翔太	常木 くるみ	野手 美由貴	松岡 英治	八木 綾子
油本 光正	尾塩 沙加恵	澤 貢	常木 修一	野手 光子	松田 智至	八木 信成
石井 純	尾山 弘隆	末永 征士	常木 育美	橋本 隼人	松村 美枝子	八木 信一
石田 尚輝	尾山 正和	末永 伸一	竹田 慶正	橋本 啓子	三上 竜生	八木 恵子
岩白 翔太	尾山 規子	姿 駿成	寺島 知駿	林 俊祐	三上 裕之	安井 正子
岩白 誠	尾山 由里子	杉田 幸平	寺島 慶子	林 純平	三上 恵美子	山口 浩輝
岩白 真美子	海内 孝明	杉田 康子	寺畑 雅英	開 裕貴	三上 藍	山口 修
岩白 真衣	柿谷 岳志	杉谷 仁志	寺畑 由佳	平野 龍司	三津島 涉	山田 孝哉
宇於崎 俊陽	鹿熊 彩花	杉森 香代子	鳥内 勇人	本田 繁	三津島 淳	山本 松昭
内山 隆一	鹿熊 薫	杉森 喜三郎	長久 慎吾	前田 恵佑	宮林 隆夫	和田 千江
内山 美紀	金山 彰	関 教志	中村 保	前田 友幸	村上 朝子	渡辺 美和子
江端 慎二	神島 雅諭	関 好博	中山 真美	前田 万里子	村下 昭一郎	渡辺 守人
江守 学	川瀬 孝義	関 悦子	中山 正之	前田 一也	村下 陽一郎	渡辺 友里
円仏 和司	川西 智恵子	高瀬 祐子	中山 育子	前田 拓海	村下 禮子	
円仏 吉秀	黒田 義成	高田 裕一	中山 正詞	巻端 凌生	村下 勇	
大田 光顯	槻 栄一	高橋 寛子	中山 スミエ	巻端 克文	村中 洋介	
大坪 敏彦	河内 雅人	玉井 ひとみ	西田 慎一	巻端 真紀	村中 大治	
(有)岡野住建		(株)藤井産業		大谷製鉄(株)		株式会社 梅かま

ありがとうございました。

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山

(日本は、「ニッポン」としてください。)

北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5207770

賛助金

<個人> 一口 3,000円

<企業・団体> 一口 10,000円

お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

ApeosPort-II C7500 / C6500 / C5400



お客様の
「知的フィールド」
の創造に向けて——
Apeos、広がる。

※特許番号: ApeosPort-II C7500 / C6500 / C5400

富士ゼロックス北陸株式会社

本社 金沢市中部町11番18号
TEL: 0765-200-0900 FAX: 0765-200-0901
<http://www.fujixerox.co.jp/fax/>